

方針と重点	市の基本施策	学校の教育目標	資質・能力を育てたい	との関わり	基本施策	本年度新たな学校の重点		具体的な実践内容または観点 (手立てとしてどうか、または達成度はどうか)	評価 A S D	分析と改善点
方針・重点・郷土高山に根ざし、未来を切り拓くための資質・能力を育む	①深い学びを ②なりたい自分へ ③地域との協働 ④生き生きと働ける社会への発信	「夢・目標」を育む学校「なりたい自分を描きチャレンジする」 ☆豊かな人間性 たくましい実践力 ◇きびしく◇あたたかく◇ねばり強く	主体的に「考え、伝え、行動する」	学ぶ喜びを実感・主体性を育成	① 学ぶ喜びを実感し、主体的に学習する生徒の育成 ① 「考える」自らの学びを自己調整する「伝える」学びのよさを広げる ③ 地域と共にある学校～地域のよさを実感し、地域に発信～	・資質、能力を育む指導計画の改善、実践。 ・導入3分の「導入のドラマ作り」。 ・課題解決に向かう見方・考え方を働かせる、学びのコーディネートの実践。 ・個別最適な学びの位置づけ。 ・対話的な学びの位置づけ。 ・ICT機器を活用した、主体的な学びの位置づけ。 ・町内会長との面談をもち、地域の課題を交流する。 ・「郷土の未来を語る会」で、地域の方と交流し、自分の思いを発信する。地域に貢献する活動日を設けて実践する。	A B A	・学校評価において、「授業がわかった」が87.8%であった。 ・研究推進委員長を中心に、授業改善に努め、学びのコーディネートに力を入れ、ジャンプ課題と言う新たな挑戦を試みた。 ・タブレット、電子黒板を活用し、授業に合わせて各教科で工夫して活用できた。 ・「郷土の未来を語る会」をまち協と連携して実施した。夏休みに代表生徒が町内会長宅を訪問し、地域の現状や課題を共有して、当日の懇談会に臨んだ。地域コーディネーターの指導の下、KPT法を取り入れ、活発な意見交流をすることができた。今年度は実践目標を立て、令和7年度に地域に出て、活動することを計画している。		
				② 応え合う仲間づくり	② 「夢」「」を育み、よさに磨きをかける。「やりたい、好きだ」を具現する活動 ② なりたい自分を描き、生きる自信につなげる活動 ② 「一生懸命がカッコイイ」を実現する主体的な生徒会活動	・自分の良さに磨きをかける。 ・「グッジョブカード」活動により、仲間の良さを再認識し、人とのつながりの大切さを実感させる。 ・「なりたい自分」を描き、スモールステップで取り組む。行事や日常生活において主体的に活動する姿を増やす。「なりたい自分」は節ごとにアップデートしていく。 ・愚直に一つのことに打ち込む姿を大切に、仲間と協力して自治的な活動を仕組む。 ・仲間と協力して、東山中の正義を創り出す。	A B A	・なりたい自分を描き、スモールステップで行事や日常生活において主体的に活動する姿を増やすことができた。 ・「グッジョブカード」により、仲間の良さを再認識し、人とのつながりの大切さを実感させることができた。 ・生徒会活動を推進し、自治の精神の向上を図ることができた。執行部の考えた「Think Globally, Act Locally」の理念のもと、学校や地域のためにできることを考え、進んで動く力を育み、「一生懸命がカッコイイ」を具現するよう取り組めた。		
				② 寂しい思いをしない学校	② ・仲間と共によりよい生活をつくり、助け合える生徒の育成 ② 心づくり部会(マインドフルネス)の活動推進「SOS」の出し方教育の充実 ④ 職員間の協働性を向上し、生き生きと働ける職場づくりを推進する。	・自分の役割を誠実に果たし、やりがいをもって生活する。(清掃・部活・行事・学級活動を通した仲間づくり) ・教育相談の充実(教育相談週間・定期的な保護者懇談) ・生徒教育相談委員会を毎週実施し、生徒の困り感に寄り添う具体的な支援を生み出す。 ・臨床心理士による個別ケースへの研修を充実。 ・退校管理日の設定(月・木18:30 火・水・金19:00) ・日課の工夫。空き時間、勤務時間内の会議を推奨。 ・風通しの良い職員室を心がけ、互いに助け合う。	A B B	・美しい環境で生活したいという意識をもって清掃活動が進められ、全体的に校舎が美しくなった。 ・要支援生徒についての共通理解を、毎週水曜日に生徒指導教育相談委員会にて実施し、組織的な対応を推進できた。特別なケースではネットワーク会議やケース会議を開き、組織的に方向性を示して対応することができた。 ・マインドフルネスの活動を通して、臨床心理士の助言を受け、個に寄り添った支援を推進し、医療に繋がったり、家庭の状況や障がいの状況に応じて対応できた。 ・会議の簡素化、スリム化や授業時間の空き時間を利用して各種会議を実践するなど、職員の意識を改革し、取捨選択して生徒のための活動を見極め、改革を少しずつ推進できた。		

学校運営協議会における主な評価内容

・「夢」「目標」を育む教育を評価。主体性を育む生徒の育成を今後も推進していく。
 ・「郷土の未来を語る会」は11年目を迎え、新たな取り組みへと移行しつつある。地域の人と交流し、地域の課題や現状を共有する中で、次は実践目標を立て、次年度に行動に移す仕組みができつつあり、よい方向性を生み出せている。
 ・子どもたちが地域とつながり、自分たちができることを考えてくれる。優しさたくましさをもった生徒が増えていると感じる。